6月号

愛知県同胞援護会だより

第419号
令和5年6月1日発行

第２とよた苑「釣れたよ～！」

目次

特集：食事管理 …… P.2
特集：思い出のアルバム・スマホ教室 開催!… P.3
春緑苑 …… P.4
第2春緑苑 …… P.5
とよた苑・東山デイサービス …… P.6
第2とよた苑・保見の里 …… P.7
大府の郷・若草苑 …… P.8
春日苑・ワーカー鷹来 …… P.9
サンホーム豊田・さくら保育園・さくら第2保育園 …… P.10
支えていただいた方々 …… P.11
特集：第2回川柳大会 …… P.12

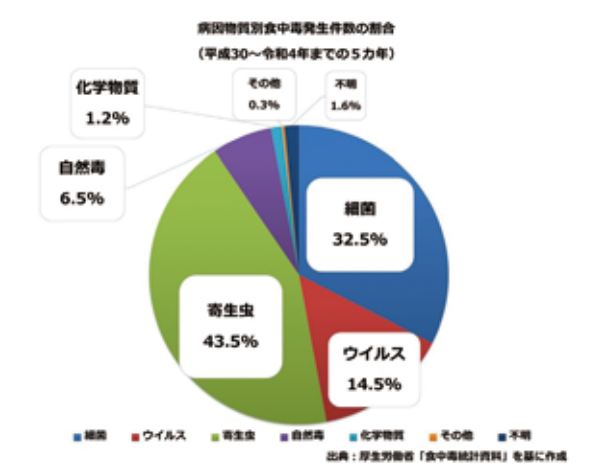
食事管理 ～食中毒予防について～

春日苑　管理栄養士　長谷川泰代

■食中毒とは

食中毒とは、食中毒を起こすもととなる細菌やウイルス、有毒な物質がついた食べ物を食べることによって、下痢や腹痛、発熱、吐き気などの症状が出ることです。夏場に発生するイメージが強いですが、実は年間通して発生しており、過去5か年の件数だけを見ると、夏場よりも秋口から春先にかけての発生が多くなっています。

■分類と発生割合



発生件数が一番多い「寄生虫」は、鮭・鯖・イカなどの刺身に潜む「アニサキス」や、加熱不十分な肉・レバーなどに潜む「サナダムシ」が原因となっています。寄生虫による食中毒は年間を通して発生する危険があり、一番の予防策は「十分な加熱」です。「十分な冷凍」も予防策として有効ですが、種類によっては長時間の冷凍に耐えうるものがあるため、やはり生食には注意が必要になります。

「細菌」は、食べ物の中で細菌が増殖したり、細菌が産生する毒素によって食中毒が発生します。食中毒の原因となる細菌の多くは約20℃で活発に増殖し始めるため、夏場は特に「つけない」、「増やさない」、「やっつける」を意識することが必要です。

「ウイルス」は、多くが「ノロウイルス」によって引き起こされます。ノロウイルスは感染力が強く、少量でも感染し、ノロウイルスに感染した者が調理の際に食品を汚染し、その食品を加熱不十分な状態で食べることなどで感染が広がります。

「自然毒」は、毒キノコやフグ毒など、自然毒を含む食品を誤って食べることで発生します。全体における発生割合は1割未満ですが、死亡率は全体の7割ほどを占めるなどかなり危険であり、見逃すことはできません。

■まとめ

寄生虫性、細菌性、ウイルス性のすべてに共通する有効な予防方法は、「十分に加熱すること」に尽きると言えます。時に命にかかわる危険もある「食中毒」。しっかりと対策して、安全でおいしい食事を楽しみましょう。

思い出のアルバム

今回は、特別養護老人ホーム
大府の郷に入居されている
新井好夫さんにお話を伺いました。

新井さんは、公務員として農場開発や水資源開発などに携わってこられました。その後JICA※に移り、発展途上国への援助をされてきました。

パキスタン、イラン、エジプト、ミャンマーなど、いろいろな国を回って援助を行ってきた新井さん。大学時代に英語やフランス語などの語学を学ばれていたそうで、現地の方と通訳なしで会話をされていたそうです。実際にどんなことをされていたのか尋ねてみると、「発展途上国、特に貧困で困っている地域に行って、現地の人と時間をかけて農村を作ったり、水道を敷いてあげたりしていたよ」と教えてくださいました。

また、新井さんは多趣味だったそうで、「体を動かすのが好きで、ブームだったボウリング、社交ダンス、一番やったのはゴルフだったね。旅行もよく行ったよ。クルーズとかね」と笑顔で話してくださいました。

今後の目標は、「家族とできるだけ長い間元気な状態で話せるように頑張りたい」とおっしゃっていました。

新井さん、素敵な経験談を話してくださりありがとうございました。これからもいろいろなお話をたくさん聞かせてくださいね。 ※独立行政法人国際協力機構。開発途上国への国際協力を行う機関。

新井さんがのっている雑誌

農地開発の様子（右：新井さん）

趣味の写真と
ご自身で制作された冊子

スマホ教室開催！

4月18日(火)、春緑苑にて地域の方々を対象に「スマホ教室」を開催しました。

SoftBankから講師の方をお招きし、電話のかけ方や写真の撮り方などのスマホの基本操作に加え、ブラウザ、LINEなどのアプリの使い方などを実際にスマホを操作しながら学びました。

教室の様子

LINEの使い方も
学べます

春緑苑

特別養護老人ホーム

健康にも良い甘茶

4月17日(月)、「花まつり」を開催しました。

花まつりでは、お釈迦様の生誕時に甘露の雨が降ったという伝説から、色とりどりの花で飾られた「花御堂」に誕生仏を祀り、ひしゃくで甘茶をかけて拝みます。

和やかな雰囲気の中、利用者さんはしっかりと目をつぶり、手を合わせてお参りをされていました。

甘茶は生薬としても知られるように、無病息災の効験があり、健康にも良いとされています。午後のお茶の時間に甘茶をお配りすると、「とっても甘いね！」、「これでお砂糖が入ってないの？」とみなさん驚いた様子で召し上がっておられました。

甘茶をかけます

デイサービス

鯉のぼりとたくさんのお餅

5月の「端午の節句会」で、「鯉のぼりの玉入れゲーム」を行いました。

工作の時間に作った柏餅や桜餅などの模様のボールを、鯉のぼりの口に投げ入れるゲームで、お餅の種類によって得点が違うので、より高得点のものを投げ入れられるかが腕の見せ所です。スタートの合図とともにお餅を鯉のぼりの口に目がけて投げ入れ、鯉のぼりがお腹いっぱいになるまでたくさんのお餅を食べさせることができました。

ゲームの後は『鯉のぼり』や『背くらべ』などの歌を歌ったり、かわいい鯉のぼり饅頭を食べて「端午の節句会」を楽しみました。

投げる投げる～

グループホーム

手作りの鯉のぼり

5月の「端午の節句」に合わせて、利用者さんと一緒に「鯉のぼりの壁飾り」を制作しました。

下書きに合わせて台紙を切り、「久々にはさみを使うから、上手にできるかしら」と言いながらも丁寧に作業を行って、迫力のある大きな鯉のぼりが完成しました。

食堂には2匹の大きな鯉のぼりを、廊下には立体感のあるかわいい鯉のぼりを飾って、端午の節句をお祝いしました。

迫力ある鯉のぼりができました！

ヘルパー

倫理・法令順守についての勉強会

4月18日(火)、「ヘルパー勉強会」を行いました。

訪問介護の現場で起こりうる複数の事例について、「どのような規則及び倫理に反するのか」、また「そのような行為を防止するためにはどうしたらいいのか」を考え、意見を交わしました。どの事例もはっきりと正解、不正解を決めることができない内容で、倫理観の難しさを感じながらも、根拠となる法令や気を付けるべきポイントなどをまとめました。

訪問介護では、利用者さんのことを思ってとった行動が、法令違反につながることもあります。定期的な勉強会の中で最新の情報を確認し、研修を重ねることも大切ですが、それを守ろうとする一人ひとりの倫理観が重要なのだと、今回の勉強会を通じて学ぶことができました。

勉強会の様子

第2春緑苑

特別養護老人ホーム

端午の節句のお祝いに

5月5日(金)、「端午の節句会」を行いました。

兜や鯉のぼりを飾って「端午の節句」をお祝いし、昼食にはユニットで調理した焼きそばを召し上がっていただきました。調理中は香ばしい匂いがユニット内に広がり、「良い匂いだね」、「おいしそう」と、みなさん出来上がりが待ちきれないご様子でした。

また、5月2日(火)からの3日間は、お風呂に菖蒲を入れた「菖蒲湯」に入っていただきました。利用者さんは、「いつものお風呂と違うね」、「ずっと健康でいたいね」と話しながら、いつもと違った入浴の時間を楽しんでおられました。

立派な兜！

ショートステイ

プルプル水ようかん

5月5日(金)、ショートステイで「水ようかん」を作りました。

作り方は簡単で、まずは粉寒天と水、砂糖などの材料を鍋に入れて加熱します。十分に加熱したら火を消し、こしあんを加えて混ぜ、容器に入れて冷やしたら完成です。

出来上がった水ようかんは、バルコニーに出て、外で召し上がっていただきました。「おいしい！天気が良くて気持ちいいね」、「外で食べるとまた違っていいね」と、冷たい水ようかんを頬張りながら、みなさんうれしそうに話しておられました。

つるんと滑らかな口当たり♪

デイサービス

いろいろなおやつ

4月2日(日)から8日(土)までの1週間、「おやつウィーク」と題し、いつもと違ったおやつを利用者さんに楽しんでいただきました。

期間中は、洋菓子や和菓子など、春をイメージした様々なお菓子をご用意しました。この日は「練りようかん」と「芋ようかん」の2種類の和菓子に、「甘酒」と「緑茶」を一緒に召し上がっていただきました。

利用者さんは、「色合いがきれいで、甘くておいしいわ」、「たまにはいつもと違うおやつもいいわね」と、とても喜んでおられました。

う～ん！おいしい♪

職員随想

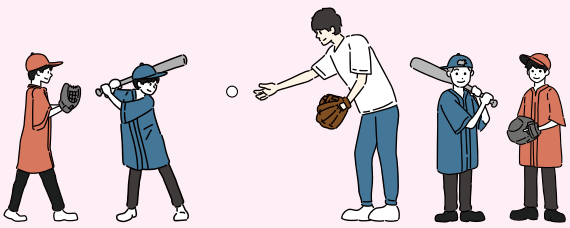
介護職員　西尾拓也

まだまだ負けないぞ

私には4人の息子がおり、休日にキャッチボールをすることが日課です。

最近、息子の投げる球が『重い』と感じるようになりました。若い頃から集まっていた友人達も、気付けば私を含め皆40歳代となり、話題も体調と髪の毛のことで持ちきりです。朝起きれば腰が痛み、傷の治りも遅く、時間の流れも早く感じるようになりました。

「まだまだ若い世代には負けないぞ」という思いを込めながら、無理せず慎重に、息子へ球を投げ返す日々です。



とよた苑

特別養護老人ホーム

地域の方々と防災訓練

4月25日(火)、「防災訓練」を行いました。

今回の訓練では、実際の災害に備えて職員が適切な対応ができるように、火災発生時の消火方法や避難方法を学びました。

また、地域の区長と民生委員にもご参加いただき、訓練を通じてより繋がりを深めることができました。

施設では、利用者さんの安全と安心を考え、災害時に備えた訓練を毎月行っています。今後も利用者さんが安全で快適な生活を送れるよう、地域の方々と協力して防災対策に取り組んでいきます。

地域の方々との連携が大切ですね

デイサービス

手作りおやつ　クッキングデー

月に1度実施している「クッキングデー」で、どら焼き作りを行いました。

「お菓子作りなんて何十年振りかしら。楽しみだわ」、「子供が小さい頃はよく作っていたから手伝うよ」と、みなさん積極的に参加してくださいました。

生地を混ぜ合わせてホットプレートで焼き始めると、フロア中に甘い香りが広がり、「おー良い匂いがしてきたなぁ」と、おやつ作りの様子を見学に来られる方もいらっしゃいました。

焼き上がった生地にあんこやジャムをお好みで挟んで召し上がっていただくと、「おしいね」、「上手にできたわ」と、みなさん出来栄えに大満足のご様子でした。

ふっくらどら焼きの完成だよ～♪

ケアハウス

春を満喫！本格コーヒー＆イチゴちゃん喫茶

春の暖かな日差しに心躍る4月、旬のイチゴとおいしいコーヒーを満喫するため、「イチゴちゃん喫茶」を行いました。

イチゴを使ったフルーツサンドは2種類で、あんこが入った「イチゴの小倉サンド」と、フルーツたっぷりの「ミックスサンド」を利用者さんと作りました。一つひとつ丁寧にサンドして最後に包丁で切ると、きれいなイチゴの切り口が現れてみなさん大喜びでした。

本格コーヒーは、通称〝コーヒー名人まーちゃん〟ことケアマネジャーの杉本さんが、ブラジル産生豆を丁寧に焙煎してドリップしてくださいました。

イチゴたっぷりのフルーツサンドと香り豊かな本格コーヒーは相性バッチリで、ゆったりとした音楽の中、〝おいしい〟春のひとときを楽しみました。

イチゴの帽子もかぶりました♪

東山デイサービス

収穫と春の準備

待ちわびていた春が訪れ、外へ出ると夏を思わせる汗ばむ季節になりました。

まだ少し肌寒い4月頃から、小松菜の収穫や野菜の種植え、苗の水やりを始めました。月曜日に行っていた活動でしたが、暖かい日が増えると、曜日問わず多い時には10名ほどの方がお世話をしてくださいました。園芸に詳しい方から、未経験の方までいろいろな方がおられますが、みなさんの普段見ない一面や、協力して作業をされる姿に職員も驚いています。

蒔いた種はまだ二葉が出たばかり。みなさんに見守られ、立派においしく育ってくれることを願っています。

みんなで育てています

第2とよた苑

特別養護老人ホーム

楽しい喫茶

4月20日(木)、「喫茶クラブ」を行いました。

コロナ禍でユニット開催としていた「喫茶クラブ」ですが、4月からは以前のように1階の喫茶コーナーに集まり、季節の飾りで装飾したフロアで利用者さんにお菓子や飲み物を楽しんでいただきました。

6種類のお菓子の中からそれぞれ好きなものを選んで召し上がっていただくと、「どら焼きの中がチョコでびっくりしたよ」と話しながらおいしそうに召し上がり、会話も弾んでみなさん和気あいあいとした時間を楽しんでおられました。

みんなでまったり喫茶の時間

私たちの桜の木

4月10日(月)、室内でも桜を楽しめるように、ユニットで利用者さんと桜の木の制作を行いました。

テーブルに大きな模造紙を用意し、ピンク色のお花紙で作った桜の花を貼り付けていきました。

大きな桜の木が完成すると、「すごくいいね。とっても素敵な桜の木だね」、「私たちの桜の木ができたね」とたいへん喜んでおられ、みなさんとても満足そうに室内に咲いた満開の桜に見入っておられました。

たくさんの花を咲かせるよ

デイサービス

第2回川柳大会表彰式

3月に実施した「第2回川柳大会」。参加してくださった利用者さんの作品は、1か月間デイサービス内に掲示し、みなさんに『いいね！』シールを貼っていただく形で投票を行いました。

70点を超える応募作品の中から、『いいね！』シールを最も集めて『最多いいね賞』を受賞した川柳は、

「コロナ禍も
終わりにしよう
この春に」

でした。新型コロナに対するみなさんの思いを代弁した一句で、たくさんの方の支持を集めていました。

作品を応募してくださったみなさん、どうもありがとうございました。

最多いいね賞おめでとうございます！

保見の里

無病息災を願って

5月5日(金)の「端午の節句」に、「菖蒲湯」を行いました。

古代中国では、奇数が重なる日を忌み嫌い、その強い香りに邪気払いの効果があるとされた菖蒲などで身を清めたり、お供えを行っていたそうです。利用者さんからは、「菖蒲の香りが広がって気持ち良かったよ」とのお声をいただきました。

お風呂の後は、保見地区では有名な和菓子屋の柏餅や練り切りを召し上がっていただきました。「やっぱりあそこのあんはおいしいね」と、みなさんあふれんばかりの笑顔でおっしゃっていました。

端午の節句といえば菖蒲ですね♪

大府の郷

特別養護老人ホーム

将棋で笑顔に

何事にも真剣に取り組むAさん。職員がレクリエーションや工作に誘うと、毎回快く参加してくださいます。ご自分からは何かをしたいとおっしゃることは少ないのですが、Aさんの個性に合わせた取り組みは何かないかと、ユニット職員で考えてみました。

Aさんは将棋が好きで、他の利用者さんに「将棋をしませんか」と誘っていたことがありました。そこで職員がAさんを将棋に誘うと、喜んで引き受けてくださり、終始笑顔で将棋を指して、対局後には「またやりたい」とご満悦の表情で次回のお誘いをしてくださいました。

今後も、Aさんに限らず一人ひとりの利用者さんに喜んでいただける取り組みを見つけて、実施できればと考えています。

好きなことに取り組む時間を大事にしていきます

デイサービス

レクリエーションの時間

デイサービスセンターでは、毎日違うレクリエーションを行うため、利用者さんは「今日は何をやるの？」と、いつも楽しみにされています。

今回は、チームを組んで「ビンゴゲーム」を行いました。ビンゴカードのマスを埋める言葉は、利用者さんと一緒に考えたもので、お題に対して答えてくださった言葉を書き入れていきました。

マスがすべて埋まったらゲーム開始です。「あと一つなのに」、「この言葉が出ますように」と、みなさんワイワイと楽しんでおられました。

今後も利用者さん同士の交流を深めながら、みなさんに楽しんでいただけるレクリエーションを提供していきます。

カードを作るところから楽しいですね♪

居宅介護支援事業所

成年後見制度

認知症などの理由で判断能力が不十分だと、自分に不利益な契約であってもよくわからないまま契約を結んでしまい、悪質商法の被害に遭う恐れがあります。

一人暮らしをしている利用者Aさんは、認知症状があり、望んでもいない高額な商品を購入してしまいそうになったことがありました。たまたま遠方に住んでいるご家族が、Aさんとの電話のやり取りで異変に気付いたため契約せずに済みましたが、こういった悪質商法の被害というのは年々増加しています。

1人で決めることに不安のある方を法的に保護するために『成年後見制度』というものがあります。市町村や権利擁護支援センター、成年後見センターに相談窓口がありますので、制度の詳細をお知りになりたい方は、一度ご相談されることをお勧めします。

若草苑

音楽療法セッション

4月19日(水)、「とよたMケアの会」さんによる「音楽療法」を行いました。

音楽療法とは、音楽を通して心と体の健康作りを行い、日常生活を豊かにするものです。この日は、音楽に合わせた体操や、利用者さんの出身地にちなんだ歌を歌いました。

先生の進行や盛り上げ方がとても上手で、みなさん自然に体を動かして歌っておられ、大勢で歌うことの一体感や感動を味わって心も体もリフレッシュできたようでした。

どの利用者さんも楽しそうな笑顔で、「次も参加したい」とおっしゃっていたので、今後も定期的な開催を計画していきます。

音楽って素晴らしい♪

春日苑

大人気の中華の日

4月19日(水)、この日の昼食は、利用者さんからのリクエストで中華料理を召し上がっていただきました。

昼食時間が近づくと、厨房からは中華料理の食欲をそそる香りが漂い、「お腹が空いてくるね」と、待ちきれない様子の利用者さん。麻婆茄子に焼きビーフン、中華スープを食べている間にも、肉団子にエビマヨ、シュウマイ、餃子が次々と運ばれてきました。

どれも好評でしたが、特に餃子は、目の前で焼いて熱々の状態でお届けしたので、大好評でした。

好きな量を取り分けて食べるいつもと違った食事のスタイルに、みなさん大満足のご様子でした。

とってもおいしいよ～！

災害に備えて

手順をしっかりと確認しました

施設には、災害時に備えた非常食と、電気や都市ガスが止まっても使えるLPガスを利用した非常用自家発電設備が設置されています。この設備を使って、屋外で「炊き出し訓練」を実施しました。

まずは炊飯器や鍋、コンロがセットになった「デリバリーステーション」の炊飯器に、お米と水を入れました。次に、ガス栓に繋ごうとしましたが、思っていたよりもガス栓が固く、力を込めて回す必要があるということが分かりました。

事前に訓練を行うことでスムーズにいかない部分が把握できたため、今後も定期的な訓練を行い、有事の際に備えていきます。

障がい者生活支援センター

春日井市地域自立支援協議会ホームページを開設しました

春日井市地域自立支援協議会※では、今年度より市のホームページとは別に協議会のホームページを公開しました。

このホームページは、協議会の紹介や障がいについての相談先、事業所の一覧を始め、障がい福祉課からのお知らせ等も掲載されており、随時更新されていく予定です。障がいについてお困りの方、サービス利用をお考えの方、事業所の方々も是非ご活用ください。

https://ziritu-kasugai.jimdofree.com/

※地域自立支援協議会とは、市が設置した機関で、障がい者等への支援を充実するため、地域の関係者が集まって課題を共有し、地域の実情に応じた体制の整備を進めていく役割を担っています。

春日苑障がい者生活支援センター
（0568）88―7637
E-mail:kasugasien@douen.or.jp
担当　水野・正木・美和・池戸・長尾

ワーカー鷹来（たかぎ）

工賃の使い道

毎月15日は、利用者さんが楽しみにしている工賃の支給日です。額は決して多くはありませんが、「頑張って働いてもらえるお金」として、毎日の作業の励みにしている方がたくさんおられます。

工賃をどのように使っているのか尋ねると、Tさんは、「毎月貯金をしている」と教えてくださいました。「毎月貯金をして、自分の通帳のお金が増えるのがうれしい」、「貯金の他にも、最近はお昼に来るヤクルトの販売で、ヨーグルトを買って食べるのが楽しみ」と、笑顔で教えてくださいました。

みなさんそれぞれに楽しみを持ち、日々の作業を頑張っておられます。

好きなものを買えるってうれしいですよね♪

サンホーム豊田

きれいに育ってくれるといいな

施設の外回りの花壇に「フィリフェラオーレア」を植えました。

名前の”オーレア“には「黄金」という意味があり、美しい葉色を象徴する名前が付けられています。春から秋にかけてはライムグリーン、冬になると少しオレンジがかったイエローになり、1年を通して楽しめる中低木です。

みんなで和気あいあいと作業を行い、植え終わった花壇を見て「きれいな色してるね」と、みなさん満足そうにおっしゃっていました。

輝く黄金色です！

新しい歌との出会い

日々の活動の中で、みんなで歌を歌う機会が多くあります。いつも同じ曲を歌っていたのですが、今回、曲を新しいものに変更しました。その曲は、松田聖子の『瑠璃色の地球』です。

「この曲知ってるよ」、「聞いたことないなぁ」と、利用者さんの反応は様々でしたが、何度か聴くうちに少しずつ覚えてくださったようです。音楽の時間に歌詞を見ながら練習すると、隣同士で教え合ったり、「歌えたよ！」、「私もできた」と、みなさん新しい曲を楽しみながら歌っておられました。

歌詞を見ながら練習するよ

さくら保育園

体操大好き♪

保育園の子どもたちは、毎日の体操が大好きです。登園するとすぐに「今日は何の体操する？」、「赤ちゃん組も来るかなぁ？」と保育士に尋ねたり、友達同士で会話する声が聞こえます。

一番人気の体操は『昆虫太極拳』です。カマキリやバッタなどの昆虫のポーズを取る体操で、スピードが速くなって難しい箇所もありますが、ポーズが上手く決まると「やった～！」、「今日は最後までできた♪」と大喜び。体操後の外遊びの時間も、虫を見つけてポーズを取ったりする姿が見られます。

他にも、料理の歌詞に合わせて体操する『キッチン体操』などのリクエストも増えていて、いろいろな体操で毎日楽しく体を動かしています。

かまきりのポーズ！

さくら第2保育園

すくすく元気に！

4月28日(金)、『すくすくデー』を開催しました。

『すくすくデー』とは、「こどもの日」にちなんで行う小運動会のことです。青空の下、みんな揃って準備運動を行った後、競技を開始しました。

乳児組と年少組は「かけっこ」を行いました。ゴールで待つ担任の保育士めがけてよーいドン！満面の笑みで走り抜けて先生の胸に飛び込んでいました。

年中組は「ボール運びリレー」を行いました。一生懸命あきらめずにボールを運ぶ姿に、たくさんの声援が送られていました。

年長組は「玉入れ」を行いました。みんなそれぞれに楽しみながら競技に参加し、子どもたちの賑やかな声が園庭にあふれていました。

あーい！ゴール！！

支えていただいた方々

（敬称略　順不同）

春緑苑

【特養】

寄付金
- 山本浦子
- 渡辺由加
- 前川実香

ボランティア
- 武内喜代子
- 塚田美智子
- 山本浦子
- 渡辺由加
- 前川実香

【福祉用具】

寄付物品
- ウェルファン

春日苑

寄付金
- 水谷比奈子
- 山下里子

ワーカー鷹来

ボランティア
- 立山哲男
- 風間公一
- 安藤八栄美
- 小平嘉津子
- 島津たつ子
- 西田利秋

さくら保育園

寄付物品
- 原口礼
- 成田夕加里
- 菅原勉
- 大野莉恵
- 小池和美

第2とよた苑

【特養】

寄付物品
- 田澤澄子

ボランティア
- 藤井玲子
- 中條ひとみ
- 中條厚子
- 毛受秀子
- 増田澄江
- 市川貴代美

保見の里

ボランティア
- 藤井玲子
- 市川貴代美
- 毛受秀子
- 中條ひとみ
- 中条厚子
- 荒川さつき

若草苑

寄付物品
- 中川保険
- 保見ケ丘支援センター

サンホーム豊田

寄付物品
- 髙木禎宜
- 深津久美子

ボランティア
- トヨタSX会

新人職員紹介

5月1日付

①職種 ②趣味・特技 ③自己PR

特別養護老人ホーム第2とよた苑

横井美記子

❶介護職員　❷ゴルフ　料理
❸人と接する事が好きで介護職に転職しました。よろしくお願いします。

特別養護老人ホーム大府の郷

佐藤一美

❶介護職員
❷カフェ巡り　おいしいものを食べること
❸不安なこともありますが、がんばります。

大府の郷デイサービスセンター

丸山枝里

❶介護職員
❷映画鑑賞
❸笑顔でがんばります。

養護老人ホーム若草苑

竹下智子

❶看護職員
❷読書
❸真面目な性格です。

特定技能

5月8日付

①職種
②趣味・特技
③自己PR

特別養護老人ホーム春緑苑

フィン　ティ　ホオイ　サン

❶介護職員　❷旅行
❸知らないこともあるので教えてほしいです。よろしくお願いします。

第2回
川柳大会

第2とよた苑デイサービスセンターで開催された「第2回川柳大会」の優秀作品をご紹介します。

最多いいね賞

コロナ禍も
終わりにしよう
この春に

今日は西
明日は東に病院通い
あーしんど！！

のびるもち
食べたら命も
のびるかな

行きたいよ
ジブリパークが
待っている

職員エッセイ 第3回

第2とよた苑デイサービスセンター
相談員
杉森捷人

同じ法人で働く私の妻は、5月に2人目の子どもを出産し、妻の出産に合わせて私も5月から約1ヶ月間の育児休暇を取得します。第2とよた苑では、男性の長期育児休暇取得は私が初めてだと聞いています。

日本は、女性の育児休暇取得率85%と比較して、男性の育児休暇取得率は13%と、まだまだ制度を利用する男性は少ないようです。一方で、海外ではスウェーデンが男性の取得率が88%と、日本と比較して大変高い取得率です。

最初は、私も育休取得に対して少し抵抗がありました。女性は妊娠・出産のために必ず休暇を取る必要がありますが、男性は違います。もちろん私も育児の協力はするつもりですが、長期休暇を取ると職場に迷惑をかけるのではないかと葛藤もありました。育児休暇取得にあたっては、家族と何度も話し合い、最終的に職場の上司や同僚の後押しもあり決断しました。

育休によって、妻と育児の時間を分かち合い、家族とのかけがえのない時間を大切にしていきたいです。そして、育児の経験を通じて人間として成長し、利用者さんやご家族の心情理解をより深めることができたらと考えています。また、私の育休取得によって、男性職員の育休申請へのハードルを少しでも下げることができればと願っています。

男性が積極的に育休制度を利用することは、個々人や社会を豊かにすると思います。まず、女性の家庭内労働の負担を減らし、女性の社会進出を促すことができます。そして、男性が家事・育児の大変さ、面白さに触れる機会を増やすことで、女性職員への眼差しや働き方に対する意識も変化すると思います。

最後になりますが、長期の育休取得に理解を示してくれた職場の仲間に感謝します。

社会福祉法人 恩賜財団 愛知県同胞援護会

法人本部　〒487-0031　愛知県春日井市廻間町703-1
TEL：0568-88-8302　FAX：0568-88-0306
E-mailアドレス：info@douen.or.jp　HPアドレス：https://douen.or.jp

ホームページでは
スタッフ日誌を更新中です！